

このたび三鷹市は、日本経済新聞社の「行政革新度」「行政サービス」両調査で、情報公開や市民参加の取り組みなどから全国で総合第1位という評価を受けました(くわしくは1面)

市では年2回の「財政事情の公表」により、みなさんからお預かりした税金がどのように使われているのかをお知らせしています。今回は、平成19年度決算の概要と平成20年度上半期の財政状況についてお知らせします。

問 財政課☎内線2124

## 市の財政は健全に運営されています

平成19年6月に成立した「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」に基づき、財政の健全度を測る4つの指標(実質赤字比率、連結実質赤字比率、実質公債費比率、将来負担比率)と公営企業の資金不足比率について算出し公表します。

いずれかの指標が「早期健全化基準」(=黄色信号)以上になると、議会で「財政健全化計画」を議決し自主的な改善努力により財政健全化を図ることとなります。また、「財政再生基準」(=赤信号)を超える指標がある場合はいわゆる「財政破たん」とみなされ、国などの関与による財政再生に取り組むこととなります。

平成19年度決算から算出した市の健全化判断比率等はいずれも基準値以下の水準を保っています。今後も「三鷹市自治基本条例」で定める自治体経営の趣旨に従い、適切な情報公開・提供を行いながら、健全な自治体経営を進めていきます。

三鷹の財政は、ちゃんと運営されているのね!

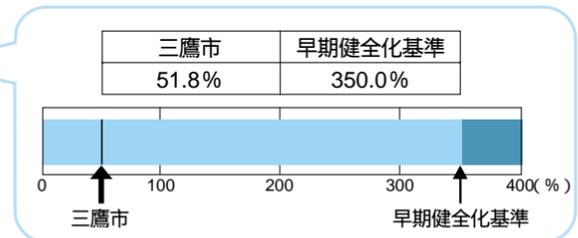
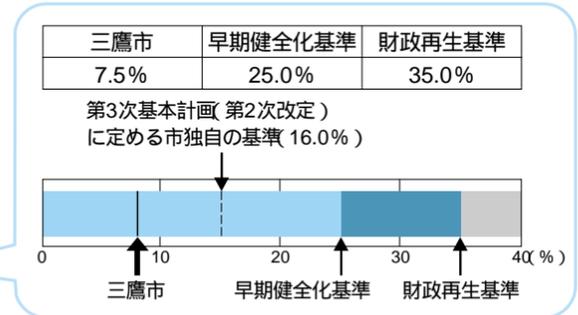


### 健全化判断比率等(平成19年度)

指標	早期健全化基準	財政再生基準	三鷹市
<b>実質赤字比率</b> 標準財政規模に対する一般会計等の実質赤字額の割合	11.52%	20.00%	赤字額が発生していないため、表示される数値はありません。
<b>連結実質赤字比率</b> 標準財政規模に対するすべての会計の実質赤字額(または資金不足額)の割合	16.52%	40.00%	赤字額が発生していないため、表示される数値はありません。
<b>実質公債費比率</b> 標準財政規模等を基本とした額に対する実質的な公債費(市の借金の返済金)に充てられた一般財源の額の割合(3カ年平均値)	25.0%	35.0%	7.5%
<b>将来負担比率</b> 標準財政規模等を基本とした額に対する一般会計等が将来負担すべき実質的な負債額の割合	350.0%		51.8%
<b>資金不足比率</b> 公営企業における資金不足額の事業規模に対する割合	20.0%		資金不足額が発生していないため、表示される数値はありません。

#### 標準財政規模

地方公共団体の財政規模を比較するための数値として、地方税や地方交付税などの経常的に収入される一般財源の額を全国統一的な算式により算出したものです。いわば用途が特定されない財源である一般財源の大きさであり、基本的な財政指標や財政健全化指標の分母となる数値です。



## 平成19年度の財務諸表

財務状況を包括的にとらえていただくために、市では毎年、財務諸表を作成しています。平成19年度決算に基づいたバランスシート、行政コスト計算書、キャッシュ・フロー計算書は次のとおりです。

### 行政コスト計算書

(平成19年4月1日～20年3月31日)

行政コスト	金額(億円)
1 人にかかるコスト	96.7
2 物にかかるコスト	139.8
3 移転支出的なコスト	238.4
4 その他のコスト	11.5
行政コスト (a)	486.4
収入項目	金額(億円)
1 使用料・手数料等 (b)	24.6
2 国庫(都)支出金 (c)	99.0
3 一般財源 (d)	387.1
収入 (b + c + d) (e)	510.7
4 正味資産国庫(都)支出金償却額 (f)	5.8
5 期首一般財源等	1,402.7
差引 (e + f - a) 一般財源等増減額	30.1
6 期末一般財源等	1,432.8

#### 行政コスト計算書とは

行政コスト計算書は、企業会計における損益計算書の自治体版で、資産形成以外の人的サービスや給付サービスにかかった費用と、その財源を示しています。

### バランスシート(普通会計・市全体・連結)(平成20年3月31日現在)

(単位:億円)

借方	普通会計	市全体	連結	貸方	普通会計	市全体	連結
<b>【資産の部】</b>				<b>【負債の部】</b>			
1.固定資産				1.固定負債			
(1)有形固定資産	2,049.9	2,235.7	2,322.5	(1)地方債	397.2	503.1	630.1
(うち土地)	(1,438.4)	(1,460.9)	(1,542.9)	(2)債務負担行為	0.0	0.0	0.0
(2)無形固定資産	0.0	9.0	9.1	(3)退職給与引当金	124.4	124.4	125.8
固定資産合計	2,049.9	2,244.7	2,331.6	(4)その他	0.0	0.0	0.5
2.投資等				固定負債合計	521.6	627.5	756.4
(1)投資及び出資金	19.5	19.5	4.9	2.流動負債			
(2)貸付金	0.1	0.1	0.1	流動負債合計	37.9	42.7	45.2
(3)基金	68.7	74.4	77.8	負債合計	559.5	670.2	801.6
(4)基本財産	0.0	0.0	13.0				
投資等合計	88.3	94.0	95.8	<b>【正味資産の部】</b>			
3.流動資産				正味資産合計	1,636.7	1,740.5	1,744.0
(1)現金・預金	38.3	41.4	43.9				
(2)未収金	19.7	30.6	31.7				
(3)その他	0.0	0.0	42.6				
流動資産合計	58.0	72.0	118.2				
<b>資産合計</b>	<b>2,196.2</b>	<b>2,410.7</b>	<b>2,545.6</b>	<b>負債・正味資産合計</b>	<b>2,196.2</b>	<b>2,410.7</b>	<b>2,545.6</b>

#### バランスシート(貸借対照表)とは

バランスシートは、年度末時点で市が保有するすべての資産・負債などのストックの状況を示すものです。主に単年度での収支状況を示す自治体会計だけでは把握しにくい、市が行政活動を行ううえでの財産の状況、負債(借金)の状況などについての情報を見ることができます。

市では、普通会計バランスシート、すべての会計を加えた市全体のバランスシート、出資団体を加えた連結バランスシートの3種類を作成しています。

### キャッシュ・フロー計算書(平成19年4月1日～20年3月31日)

区分	金額(億円)		
1 行政活動によるキャッシュ・フロー	112.0		
2 投資活動によるキャッシュ・フロー	91.8		
3 財務活動によるキャッシュ・フロー	28.2		
4 現金及び現金同等物の増減額(1～3の増減)	8.0		
5 現金及び現金同等物の繰越残高	46.2		
	38.2		
6 現金及び現金同等物の年度末残高	内訳	財政調整基金	23.8
	歳計現金	14.4	

#### キャッシュ・フロー計算書とは

キャッシュ・フロー計算書は、自治体の活動を行政活動、投資活動、財務活動に区分し、それぞれの資金収支の状況を示したものです。

平成19年度決算の詳細は、「平成19年度各会計決算概要」として1冊の冊子にまとめてあります。この冊子は、相談・情報センター(市役所2階)や図書館で閲覧できるほか、同センターで販売(1冊300円)しています。また「決算概要」の全文、「財政事情の公表(抜粋)」、バランスシートなどの財務諸表の詳細は、市のホームページでもご覧いただけます。